

電話/訪問日時: 年 月 日

## 01 連絡先の警察署の詳細

警察署名:  警察署交通課 電話番号:   
記入例) 丸の内 記入例) 03-1234-5678



### POINT

警察へ後日連絡する場合110番通報は使えません。  
事故現場付近の警察署の交通課へかけます。

## 02 連絡内容

事故が起きた日時 年 月 日 時 分

記入例) 2024年1月15日 16時 \*できる限り正確に思い出しましょう

事故が起きた場所 都道府県:  市区町村:

番地:  番先路上 記入例) 東京都新宿区新宿3丁目14-1先路上



### POINT

場所がよく分からない場合は、自動販売機などに貼られているステッカーや信号機、電柱の地名表示を確認

### 死傷者の人数、および負傷者の人数と怪我の程度

私(たち) 死者: 名 負傷者: 名 怪我の程度:

記入例) 死者0名 負傷者2名(自分と同乗者1名) 怪我の程度: 頸椎捻挫

相手 死者: 名 負傷者: 名 怪我の程度:

記入例) 死者0名 負傷者不明 怪我の程度: 不明



### POINT

負傷については、医師の診断書があればその内容を記載しましょう。  
怪我の部位+内容・程度(捻挫、打撲、骨折など)で記載します

### 交通事故に関する車両等の積載物

記入例) カーナビ、カーテレビ、チャイルドシート、コート、メガネ、腕時計、靴

写真の有無: あり なし      ドライブレコーダーの有無: あり なし



### POINT

事故によって積載物が壊れた場合、その損害についても加害者に対して損害賠償請求できる可能性があります

02 連絡内容（続き）

交通事故について双方が行った措置 **重要**

①

記入例) ①運転を停止した

②

記入例) ②負傷者がいたので救護した（救急車を呼んだ）または、負傷者はいなかったので救護はしなかった

③

記入例) ③後続車の事故が生じないように車を移動した

④

記入例) ④警察へ連絡した



**POINT**

道路交通法72条によって、上記の4つの義務が課せられています。特に、②負傷者がいるのに、負傷者の救護を怠った場合、「ひき逃げ」「当て逃げ」となり、救護義務違反として運転免許は取り消しとなり、取消日から3年間は免許の取得ができなくなるので、注意が必要です。

交通事故当事者である互いの身元、および連絡先

私(たち)

氏名:

電話番号:

住所:

記入例) 田中太郎 090-1500-0000 〒160-0012 東京都新宿区南元町〇丁目〇

相手

氏名:

電話番号:

住所:

記入例) 佐藤花子 080-3621-0000 〒104-0051 東京都中央区佃〇-〇

警察署に通報した内容

電話/訪問日時:

年

月

日

担当者名:

警察から言われたこと: